

優秀賞

## 草かり友だち

茨城県 日立市立仲町小学校二年 鈴木 陽太

夏休みがはじまって、おかあさんはしごとだからぼくは一人でおるすばんです。

朝、しごとに行くおかあさんをアパートのちゅう車場までおくとそこには女の人が一人で草かりをしているすがたが見えました。ぼくはとても小さな声で、

「おはようございます。」  
といいました。

ぼくはその女の人がどのかいの人かもわかりませんでした。なのにおかあさんはぼくにとんでもないことをいいました。

「おてつだいしましょうか？って声をかけてみたらどう？じゃあ、いってきまーす。」

ぼくは心の中で「はあーぜったいにむりだし」と思いました。家にもどり一人で考えました。「草むしりたいへんそうだったな。でも声をかけるのはは

ずかしいなーどうしよう…」。

少しなやんだけれどぼくはゆう気を出して、外に出て女の人に声をかけてみました。

「あのお：おてつだいしましょうかー？」

その女の方はちよっとおどろいたかおをして、

「あらいいのじゃあおねがいしようかなー。」

と言って、ぼくのためにぐん手と草を切るはさみをかしてくれました。

ちよっとめんどくさいと思いつながら草かりをはじめました。草かりをしながら少しおしゃべりをしました。その女の方はなんとぼくの上のかいにすんでいました。それからぼくはならいごとの話をしました。その女の方は、

「二年生もたいへんね。」

と言ってにこりとわらってくれました。ぼくもいっしょにわらいました。

「そろそろおわりにする？」

と女の人に聞かれたのでぼくは、

「もう少しやります。」

と言いました。そのときぼくは草かりがとってもまたのしくなっていました。

また時間がたってその女の方はいいました。

「そろそろおわりにしましょう。ありがとう。また

いっしょに草かりしようね。」

ぼくは大きい声で、

「ありがとうございます。またやります。」

といいました。

はじめたときはめんどくさい気もちだったけど今はちがいます。いっばいあせをかけたけど草はなくなっすっきりして、それと同じぐらいすっきりしたきもちになりました。

次の日の夕方ぐうぜんその女の人に会いました。今までは小さな声で「こんにちは」を言うだけだったけど、今はおたがいえがおで「ばいばい」と手をふれるくらいなよしになりました。

草かりをつうじて新しい出会いがありました。草かり友だちができました。ゆう気を出して声をかけた自分に「ちようナイス!!」と思いました。

